

2011第二地連総決起集会

11月10日(木) 文京区民センター3階A会議室

約100名の結集で

第二地連新聞



思いを訴える!

発	行	責	任
第	二	地	連
編	集	責	任
第	二	地	連
東	京	清	掃
労	働	組	合
第	二	地	連

2011年11月15日
第20号

区長会当局と対峙し、職場の切実な思いを訴える第二地連の仲間たち

11月10日(木)、文京区役所向かい文京区民センターにおいて「2011賃金確定闘争第二地連総決起集会」を開催しました。第二地連4区5支部約100名の仲間が結集し、職場退庁後17時30分～18時30分、東京清掃本部から額瀨副委員長および桐田書記次長も駆けつけ、同副委員長および同書記次長による決意表明および情勢報告がありました。当局との交渉が予断を許さない厳しい中、18日に設定されたストライキを背景に闘う旨が語られました。

その後、第二地連5支部および第二地連青年部の6名の代表から、力のこもった決意表明が行われました。

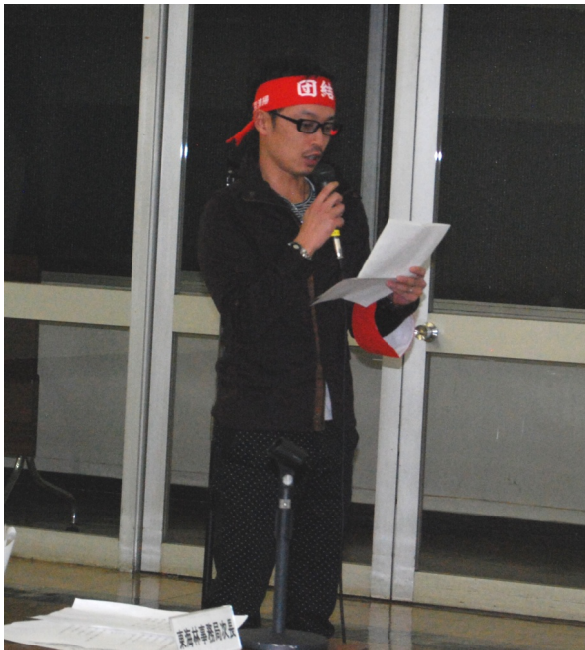
決意表明の後、幹事区である文京区の副区長を相手に、区長要請行動が行われました。緒方第二地連副議長による要請文が読み上げられ、金子議長から各支部の署名が副区長に渡されました。

最後に、「団結ガンバロー」で総決起集会が締められました。

第二地連総決起集会において、地連内4区5支部および地連青年部代表6名による、現場からの切実、かつ力強い訴えが、区長会当局へなされしました。以下、冒頭に青年部代表の決意表明を掲載し、他、発言順に、文京支部、台東支部、北支部、荒川支部、北工場支部の決意表明を紹介します。

青年部議長 野口貴史

今集會に結集した仲間
の皆さん、大変お疲れ様
です。第二地連青年部で
議長をしています北支部



の野口です。私たち青年部としての生活実態を踏まえた要求と決意について述べています。

今確定闘争の、私たち青年部として譲れないポイントとは、3年連続の引き下げにつながる、月例給の引き下げ勧告であります。この勧告は青年部のみならず、全組合員の生涯賃金に大きく関わる内容であります。ただでさえ、我々青年部の仲間は、採用時から低い賃金体系からスタートしています。これから家族を持ち、家を持つなど、明るい将来を見据えていた私たちにあって、きわめて厳しい内容であり、この先の生活設計すらも崩壊

寸前、生活するだけで一杯の賃金となつてしまっています。私たち青年部の仲間の願いは、家族の明るい未来、そして安心して働き続けられる職場環境の確立です。日々の作業を頑張れるのも、家族の支えがあつてのものであります。その家族とのささやかな夢と絆を守る



ためにも、今回の勧告もとうてい納得できるものではありません。この場を借りて、切に賃上げ要求を！という気持ちでいっばいです。

この組合つぶしもいえる提案は、職場の体制・結束力を分断することを目的としていることは明確であります。当然、容認するわけにはいきません。

現在、青年部第二地連内では純粋な青年部は一人しかいない状況です。約10年間、新規採用がない支部もあり、青年部不足から活動が停滞しているのも事実です。青年部活動を充実し、横のつながり、すなわち団結を強化していかなければ、私たち青年部の未来はありません。よって新規採用獲得についても強く要求していきます。

最後に、この先30年以上にわたり働き続けていく我々青年部にとって、安心して働き続けられる職場、守るべき家族、そしてこの環境を維持していくには、これ以上の賃金および人員削減攻撃は、断じて許すわけにはいきません。我々第二地連青年部は基本組織に結集し、最後の最後まで闘い抜く決意であります。ともに頑張ります。

文京支部 渡辺一彦

東京清掃労働組合文京支部渡辺です

2011賃金確定闘争、第二地連決起集会にあたり、文京支部を代表し決意表明をします。

今次確定闘争は、公務員制度改革や定年延長など、今後の重要な課題について、協議を行う初年度であり、次につながる、非常に大切な確定闘争と位置づけられます。



公務員制度改革などは、我々、現場で働く者の意見を取り入れ、納得ができる制度にしていかねければなりません。そして、特別昇格制度は今年度の実施を最後に終わります。これに変わる制度を入れることは、非常に困難だと聞いています。困難であるならば、今の任用制度を、皆のやる気が出るそして納得ができる、そんな任用制度に改善する必要があると思います。我々は一般職であっても、主任職であっても、技能長職であっても、職員一人一人が、区民一人一人の話しを聴き、真剣に清掃事業に従事しています。我々が居るからこそ、住民は安心した生活ができるのです。今回の震災でも、我々の力は実証されたはず

問題は任用制度の改善だけではありません。区移管後、区民と身近になった清掃事業は、業務が多様化し増加してきています。しかし、それに見合った処遇の反映はあり



ません。また、職員の配置数

も、少ないのが現状です。これでは迅速な対応

は困難となり、住民サービスは低下してしまいました。

我々が当局に対し要求している内容は、当然で当たり前ではないでしょうか？

我々は誠心誠意、私欲を捨て、身を粉にして、今後の清掃事業を本当に良くしたいと思っております。

今こそ、我々は現場から声を発し、闘って行くではありませんか。

区長会是我々の要求 に対し、誠意を持って回答してください。文京支部は一人も欠ける事なく団結し、清掃事業に誇りと責任を持ち、区民を守り、そしてなにより自分の家族を守るため、

「2011賃金確定闘争」を、東京清掃労働組合本部、そして第二地連に結集し、最後まで闘い抜くことを申し上げ、文京支部を代表しての決意表明とさせていただきます。ともにがんばりましょう。

台東支部 鈴木信生

本総決起集会に参加された皆さん、大変ご苦勞様です。台東支部を代表して、一言決意を述べたいと思います。

10月28日、特別区人事委員会が勧告をしました。内容は、公民較差マイナス842円、0・20%、一時金については、民間支給割合と概ね均衡して



いるため、改定なし3・95月としていきます。月例給の引き下げは、3年連続となり、職員の平均年間給与は、約△1万3000円の減収となるものです。生計費原則の賃金決定の基本からも、高物価の首都圏で暮らす職員の生活実態をまったく省みない不当な勧告と言わざるを得ません。業務職給料表は、労使交渉で決定します。勧告に左右されることなく、清掃事業の職場実態を踏まえた業務職給料表を早期に示し、十分な労使協議を尽くすべきです。こうした不当な勧告を許さず、清掃労働者の労働条件の確立、全組合員が納得できる賃金制度・人事任用制度を早期に実現させるまで、私たち台東支部は、本部・地連に結集し、勝利するまで、最後の最後まで闘います。以上、簡単ではありませんが、支部を代表して決意表明とします。ともにがんばりましょう。

北支部 川内谷昭彦

「2011賃金確定闘争」第二地連総決起集会に結集された仲間の皆さん、大変お疲れ様です。

「2011賃金確定闘争」に関わり、北支部としての決意を一言述べさせていただきます。

特別区人事委員会は10月28日、各特別区の議会・区長に対し、「給料表の平均0・20%引き下げ



るように」と勧告を行いました。この勧告が実施されれば「3年連続の引き下げ」で、「平均1万3000円の減額」となります。また、今回の勧告内容を「12月の期末手当のなかで、所要調整を行なう」としています。

北支部においても、家を購入し、定期昇給を見込んでローンを計画した

り、まだ幼い子どもや高学費の高校生・大学生を養っている組合員が数多くいます。年々、収入が減らされていては、明るい生活設計はできません。

今後、「定年延長を含む高齢者雇用の問題」や次年度以降から導入される一時金の扶養手当の拠出」も大きな問題となります。また、今後の課題として「現業(業務)職給料表の低水準化」や「特別昇級が廃止された後、代替となる制度の確立」等、私たち組合員全体で闘っていかねければならない課題もあります。

これらの問題を闘いに変えていかなければ、「賃金をはじめとする労働条件の確保」はさらに厳しくなるばかりです。

北支部は、第二地連に結集し、みんなの団結で闘い抜くことを申し上げます。決意表明とします。ともにがんばりましょう。

荒川支部 野口悟

第二地連総決起集会に参加の皆様、ご苦勞さまで。

私は荒川支部で書記次長をしています二児の父親、「バツイチ」です。よろしく願います。

清掃事業が区に移管されてから11年が経ちました。区民の方々にとって私たちの仕事は一番身近であり、一日も欠かすことのできない事実です。

そう思い、一生懸命に仕事をしてきました。しかし、荒川区当局はそんな

私たちに何をしたか。11年間、退職者不補充、新規採用を採らずに欠員だけがどんどん増え、派遣や臨時職員でごまかしてきました。欠員が二桁になり派遣職員も使えなくなってしまうと、荒川区当局は安易に、今年の4月から車付雇上小ブW7

セットを入れてしまいました。区民のことなど二の次で、一日うまく回ればいいとしか考えていないのです。最初、車付の作業員が14人も事務所の休憩所に現れて驚いたものです。

そして、今年の人勧を見て、さらに愕然としました。3年連続のマイナス勧告。区民の方々に迷惑をかけないように、必死に頑張っても賃金は下がる一方です。20年、30年と働き続けなければならぬ私たちにとって、これ以上、賃金が下がれば、家のローンや子どもたちの養育費をどう払えばいいのでしょうか。

区長会は今回の勧告に左右されることなく、日々真面目に汗を流す職員の努力が報われるように考えて欲しいと思います。

業務職給料表は、労使交渉で決定するものです。清掃事業の特殊性や困難性を踏まえた給料表を早急に提示し、区長会が協議を誠意を持って行なうことを強く求めます。

荒川支部は一丸となり、本部・地連に結集し

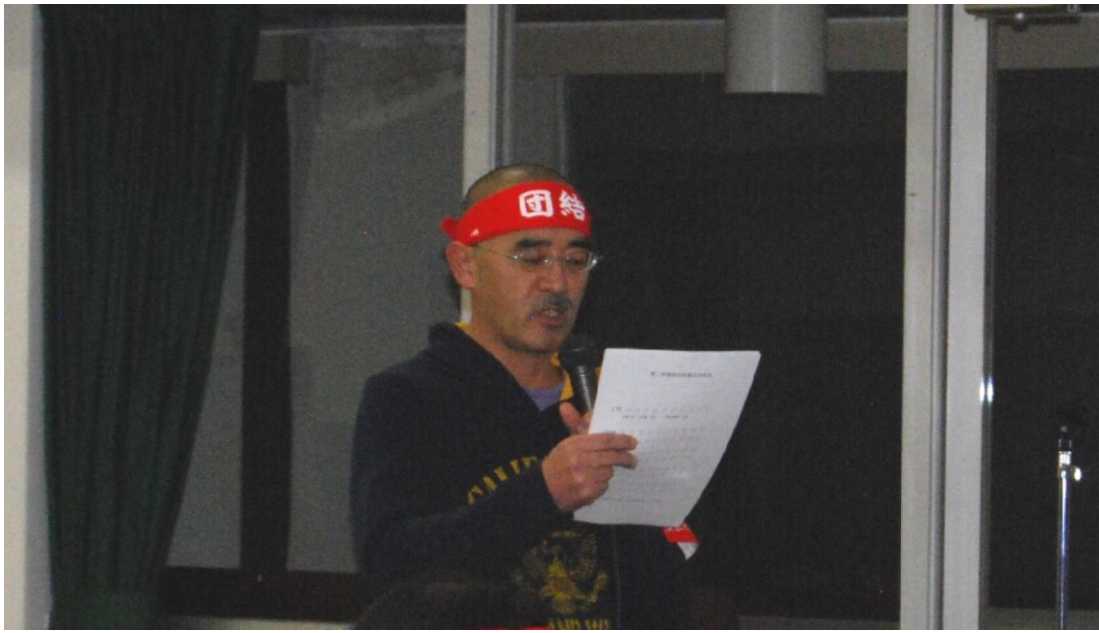
て要求貫徹に向け闘い抜きます。

ともにがんばりましょう。



北工場支部 青木一吉

マイナス人事院勧告、
年収ダウンにより、私た
——
ちの生活は悪化する一方
です。



この間のマイナス勧告
や一時金の支給年月数の
削減は、民間の厳しい賃
金実態を反映したもので
した。この民間準拠原則
を否定するものではありませんが、いまの人事院
は、民間準拠のみを勧告
の拠り所とし、私達の生
活実態を反映させること
については、全く考慮さ
れていないといっても過
言ではありません。

また、高物価の首都圏
での高額の家賃負担や、
生活費全般にわたり重い
負担を強いられている現
状を踏まえると、賃金の
引き上げや諸手当の改善
は、私どもにとって喫緊
(きつきん)の課題とな
っています。

私たちの現場は、連年
の定員削減や業務の複雑
・困難化によって職場の
繁忙度は高まる一方で
す。しかし、連年の賃下
げにより、生活状況は悪
化する一方です。とりわ
け若年層にとっては、賃
下げばかりとなり、士気
にも影響を及ぼしていま
す。

今次賃金確定闘争は、
過去に例がないほど厳し



い情勢下での闘いである
が、ストライキを背景に
北工場支部職員一致団結

し、最後まで闘い抜く決
意である。
以上、決議する。



東京清掃労働組合

TOKYO SANITATION WORKERS' UNION